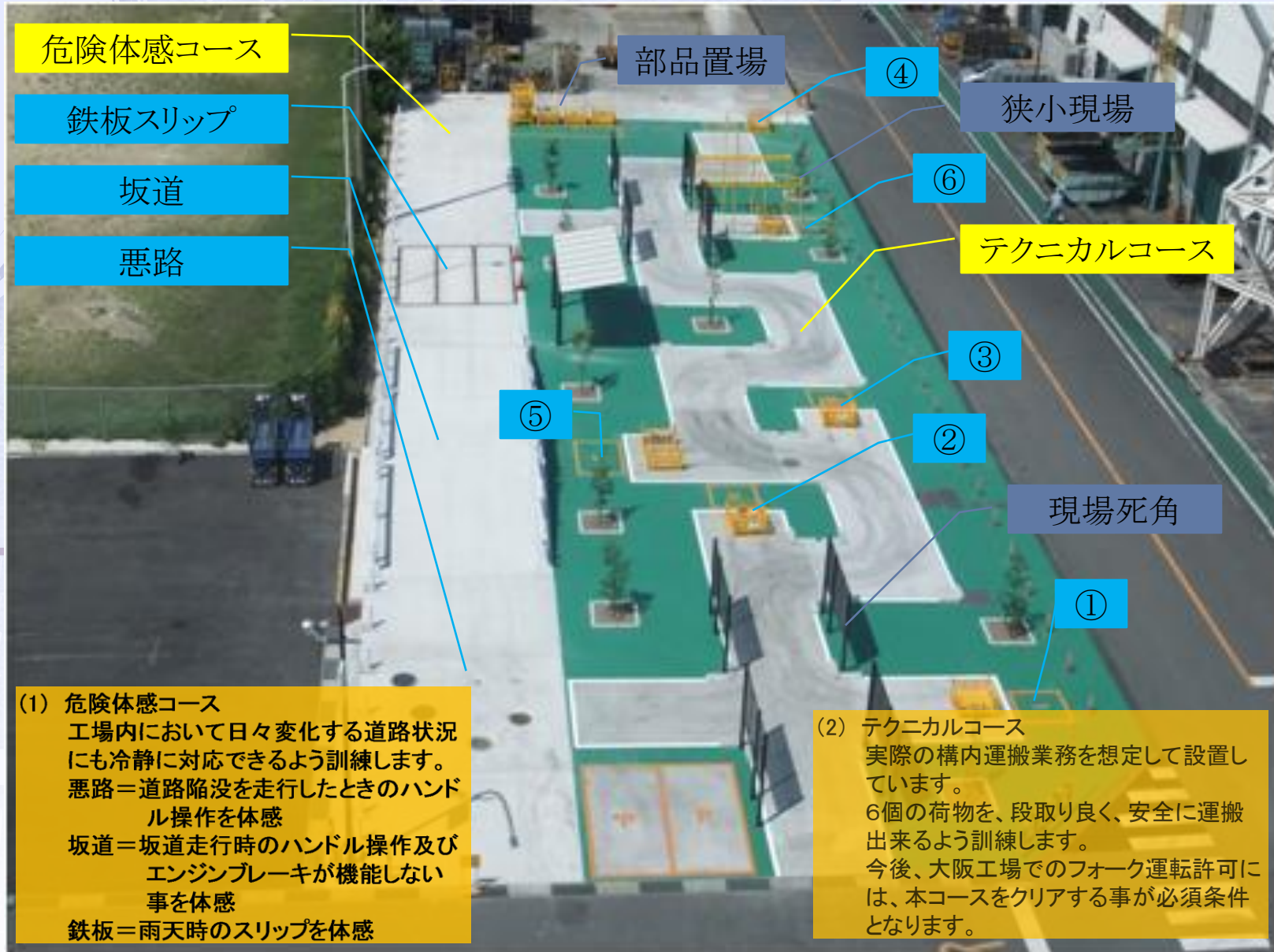


フォークリフト災害未然防止活動 について

フォークリフトトレーニングコース概要



危険体感コース

鉄板スリップ

坂道

悪路

部品置場

④

狭小現場

⑥

テクニカルコース

③

⑤

②

現場死角

①

(1) 危険体感コース
工場内において日々変化する道路状況にも冷静に対応できるよう訓練します。
悪路＝道路陥没を走行したときのハンドル操作を体感
坂道＝坂道走行時のハンドル操作及びエンブレキが機能しない事を体感
鉄板＝雨天時のスリップを体感

(2) テクニカルコース
実際の構内運搬業務を想定して設置しています。
6個の荷物を、段取り良く、安全に運搬出来るよう訓練します。
今後、大阪工場でのフォーク運転許可には、本コースをクリアする事が必須条件となります。

訓練内容1・・・危険体感コース

スタート位置に
フォークをセット
する。



5Km/h
厳守



散水栓を開けて
鉄板に水をまく



鉄板の上に後輪が載った瞬間に急ブレーキをかけて、スリップを体験する

5Km/h
厳守



上り坂の入り口で
一旦停車する事

最徐行



途中で止まらな
いように一気に頂
上まで上がり
一旦停止する事



下りコースでは、アクセルを踏まず、ブレーキをかけながら降りる事

最徐行



最徐行で悪路に
タイヤを載せて悪
路を体感する

コース外に出ると
きは、一旦停止し
左右確認の事

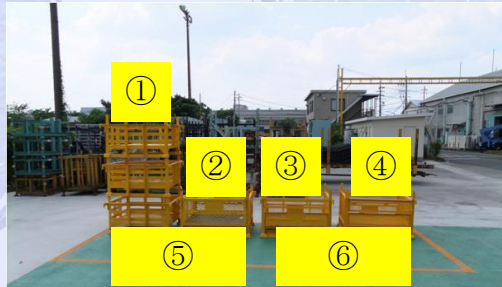


最徐行



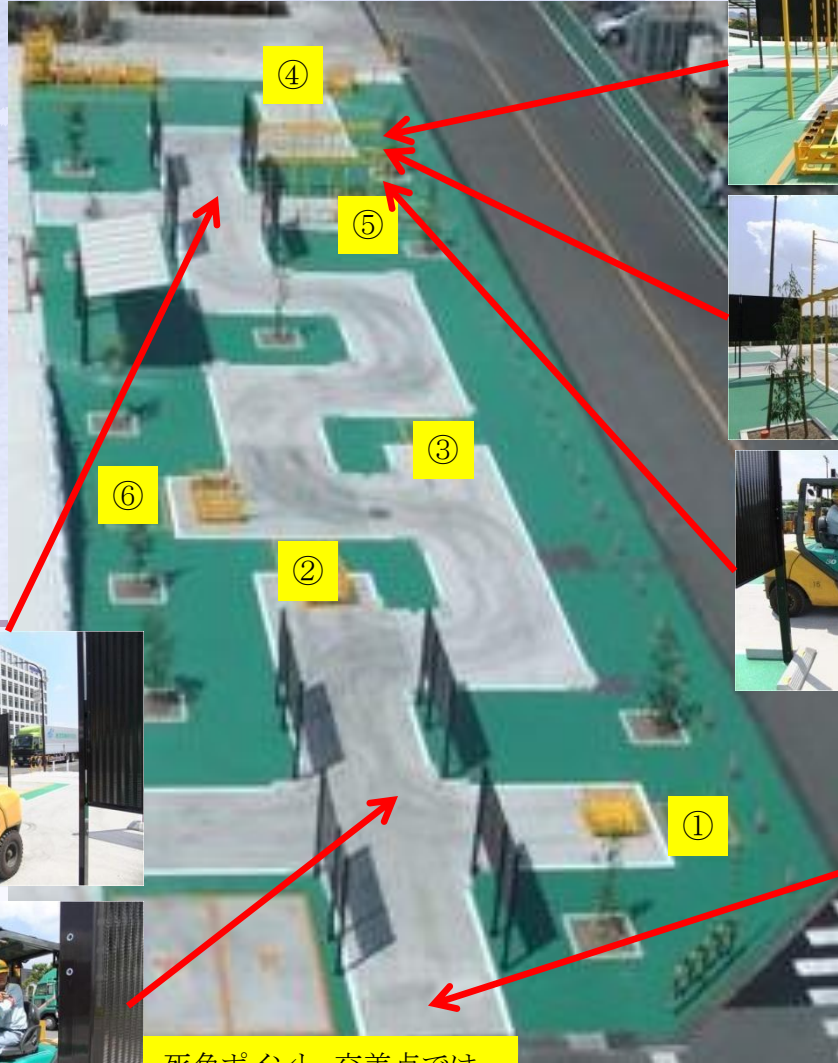
順番待ちフォーク
は駐車場に入れ
ること

訓練内容2・・・テクニカルコース



- ①～⑥までの荷物を安全且つ迅速に部品置場まで搬送してください
- 部品置場に積まれた荷物を安全且つ迅速に①～⑥の出庫場に運搬してください

この作業のトータル時間を計測し、標準工数との比較で、技能が評価されます。



車幅ギリギリです両サイドの車幅ポールに接触すると減点されます。



パレットの上下に障害物があります。接触したら原点されます。



難関をクリアしたら、一旦荷物を下げてから運搬を開始しましょう



死角ポイント、交差点では指差し呼称を確実に実施ウインカーも忘れずに!!



コースのスタート及びゴールです